

スポーツ かわら版



いつでも、
どこでも、いつまでも

創刊号

平成 24 年 9 月 1 日
(発行)

ねりまエンジョイ
スポーツ DAY

平成 24 年 12 月 2 日 (日)

おたのしみ券

(※切りとりの上

当日お持ち

下さい)

今号のトピックス

- スポーツ推進委員会の活動
- 楽しいイベント情報
- わが街のスポーツ紹介
- スポーツ豆知識

発行 練馬区スポーツ推進委員会

練馬区スポーツ推進委員会の主催する主な事業

夏休み水泳教室



今年こそ泳げるようにナルぞ!

区内小学校のプールで小学生を中心に実施しています。

区民歩行会



健康をめざして歩こう! 歩こう! どこまでも

区民の体力づくりや健康意識の定着を目的に年2回実施しています。

わんぱくキャンプ



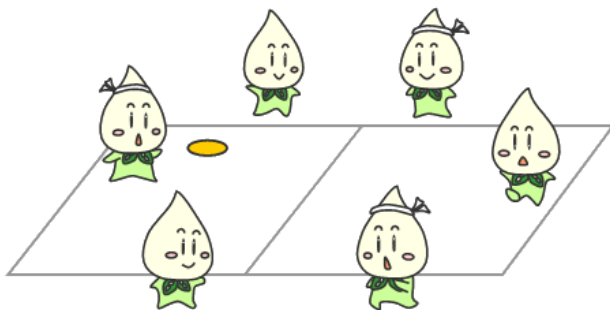
毎年夏休みに、小学校3年生から6年生を対象にバンガロー等に宿泊し野外活動を行います。

今年は12月2日に
総合体育館に集まれ!



ねりまエンジョイスポーツ DAY

スポーツ体験の機会を提供し、家族や地域住民の交流を支援する事業です。今年は12月2日(日)に練馬区立総合体育館で開催します。



みんなでスポーツを楽しもう!

11月3日は光が丘に集まれ!

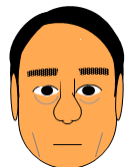


ねりすぽフェスティバル

練馬区内で活動するスポーツ関連団体が協力して開催するスポーツイベントです。お子様から大人の方まで楽しめます。

「スポーツかわら版」発行に寄せて

区民生活事業本部 地域文化部
スポーツ振興課長 齊藤 新一

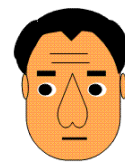


スポーツ推進委員の皆さんには、日頃より、練馬区のスポーツ振興にご尽力いただき心から感謝申し上げます。

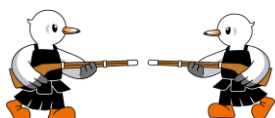
さて、本年3月に国がまとめた「スポーツ基本計画」では、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)となることを目標とする」とされました。内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」(平成21年9月)によれば、週1回以上の運動・スポーツを行う成人の割合は45.3%ですので、平成21年から約20%向上させることが目標となります。この目標を達成するためには、今まで以上にスポーツ推進委員の皆さんが地域の核となり、地域の方々とともに地域課題を解決していくという協働関係をつくりあげていくことが重要となります。私ども行政は、目標達成のためスポーツ推進委員の皆さんの活動を側面から精一杯支援してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。結びにあたり、この「スポーツかわら版」が一人でも多くの区民の皆さんに愛読され、練馬区の生涯スポーツ振興、さらには地域の活性化につながることを切に希望し、発行に寄せる挨拶といたします。

『わたくしたちの活動』に思う

練馬区スポーツ推進委員会
会長 太田 雄三



平成23年に「スポーツ基本法」が制定されました。私たちの名称も「スポーツ推進委員」となり、役割も「区民に対するスポーツの実技指導」に新たに「スポーツ推進事業の実施に関わる連絡調整」が加わりました。私たちスポーツ推進委員は、区民の方々がそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的等に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」身近な地域でスポーツに親しんでいただけるようサポートしていきます。生涯スポーツ社会の実現とスポーツが盛んな活気溢れるまち「ねりま」を目指した積極的な活動をして参ります。従来より、区民歩行会、わんぱくキャンプ、水泳教室をはじめ、学校応援団事業協力、そして「ねりまエンジョイスポーツDAY」や「ねりすぽフェスティバル」を開催し、区民の方々にスポーツを楽しんでいただく機会を提供できるよう活動しております。また「スポーツ祭東京2013」への積極的な取り組みも進めていき、ホームページや「スポーツかわら版」等を通じて、皆様にたくさんの情報を提供していきたいと思っております。私たちスポーツ推進委員会一丸となり、活気溢れる活動を行なって参りますので宜しくお願い致します。



今回は練馬区内で活動中の女性ソフトボールクラブの紹介です。



クラブ名は「レディース・アロン」。名前の由来は、元大リーグのハンク・アロンからいただいたそうです。部員は、30～70歳までの「年の差チーム」でメンバーの中には、大学選抜の日本代表経験者も在籍、「美と若さ、健康を求めて」をモットーに活動されています。

キャプテンの杉森さんは、4年前のオリンピックで

日本代表が優勝した時は、自分達も目指そうと盛り上がったのに、公式種目から消えるなんて・・・でも復活を信じて頑張る！と涼しげな笑顔が印象的でした。

光が丘四中をホームグラウンドに、月2回練習とのことで、常に部員募集中。記者も笑顔で誘われてしまい、無駄にある贅肉を落とす事を目標に参加するはめになりました・・・

さてどうなる事やら・・・

連絡先：杉森良子 電話03-3925-6105 (S)

ジュリー制度におもう

今回のロンドンオリンピックでは、色々なハプニングがありましたね。中でも、旗判定のやり直しにより勝敗が覆ってしまった男子柔道66Kg級の準々決勝は、前代未聞の出来事でした。もつれた試合は延長戦でも決着がつかずに旗判定となり、審判員があげたのが青(韓国代表選手)の旗3本でした。白の日本代表である海老沼選手は戸惑いを隠せず、同時に会場はブーイングの嵐が起きました。その直後、畳の外にいた人が畳の上の審判員と何やら話し合いをはじめ、やがて審判員はもとの位置に戻り、再度の旗判定・・・すると今度は、白の旗3本があがり、海老沼選手が勝ちとなりました。この畳の外にいた人が柔道における審判委員(ジュリー)と呼ばれる人たちで、畳の上の審判員のミスをチェックする役割をもっています。柔道におけるジュリー制度導入のきっかけは、2000年シドニーオリンピック柔道100Kg超級決勝で「世紀の大誤審」と言われた試合、篠原選手(現、柔道男子監督)が内股すかして完全な一本を奪ったかと思った瞬間、審判員は相手選手に有効を与え、負けとなったことです。今回の場合も、延長戦で海老沼選手の繰り出した有効の技が、ジュリーの指摘により取り消されたという伏線がありました。海老沼選手の勝ち、ジュリー自らが良い方向に機能したのか、会場のブーイングにジュリーが気づかされたのか・・・誤審防止のはずであるジュリー制度が、逆に混乱を招くことなく、勝っても負けても、選手同士が納得のいく制度に高めていくことが必要ですね。(K)

みんなで集まろう！ 11月、12月イベント

練馬区立光が丘体育館
東京都光が丘公園(けやき広場)

11/3 祭 ねりすぽフェスティバル

午前10時～午後4時

楽しいイベントがいっぱい！

- スタンプラリー形式で体験！景品もあるヨッ！
- 昼食時にはチアダンス等の楽しいパフォーマンスもあります

- 内容
- 屋外 ● グラウンドゴルフ ターゲットバードゴルフ インディアカ ストラックアウト スポーツ吹き矢 フライングデスク ビーチボールバレー ノルディックウォーキング
 - 屋内 ● 銃剣道 ミニバスケ ボッチャ フラビー ラケットテニス キンボール

練馬区スポーツ関係団体共催イベント

公益社団法人練馬区体育協会・練馬区レクリエーション協会
ねりまSSC7団体・練馬区スポーツ推進委員会



入場
無料

練馬区総合体育館 練馬区谷原1-7-5

練馬区スポーツ推進委員会主催
後援：練馬区

12/2 回 エンジョイスポーツDAY

午前10時～午後4時

歩け歩け、めざせ！ 総合体育館

- 楽しいイベントがいっぱい！！
- お昼までのイベント参加者には、カレーライスの参加賞があります。みんな、食べてね！！
- 応募方法は「ねりま区報」10月21日号をご覧ください

- 内容
- 館内 ● 飛んで跳ねて！ トランポリン
みんなで一緒に！ ダンス・いきいき体操 メタボをKO！ ボクシング体験
疲れた体に！ ストレッチ バドミントン、ボッチャ、
他マクロキャッチなどのニュースポーツを体験。
 - 館外 ● 練馬区内の名所をねり歩く『ミニ歩行会』を開催!!
防災体験コーナーもあるよ!!

入場
無料



CHECK おたのしみ券 使っちゃおう！

練馬区スポーツ推進委員とは

国が定めた「スポーツ基本法」にもとづき、区長から委託された非常勤職員で、現在39名の委員がいます。スポーツ活動の母体として自主的団体「練馬区スポーツ推進委員会」を設置、区と協力してスポーツ推進活動を行っています。また、他のスポーツ組織・団体との連携や、地域スポーツ団体と一緒に区と区民のスポーツ活動のパイプ役として活動しています。

練馬区HPのQRコードをご案内します。
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/sports/taiikuisidouinkai.html>



スポーツ基本法とは

昭和36年に制定された「スポーツ振興法」が平成23年に改正され「スポーツ基本法」となりました。

「スポーツは、世界共通の人類文化である」スポーツ基本法の前文は、この言葉から始まります。前文ではスポーツは、次世代を担う青少年の体力を向上、他者を尊敬する精神、スポーツの国際的な交流が国際平和に貢献するなど、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

文部科学省HPの該当ページをQRコードでご案内します。

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm



編集後記

広報誌「スポーツかわら版」創刊号を発刊するにあたり、新しい発想のもとに発行ということで、編集委員一同頭を抱えこんでしまいました。悩み抜いた上、知恵を絞り合い、地域の情報を広く収集し、地域に向け広く認知と理解を得るための情報誌として発行する運びとなりました。練馬区スポーツ推進委員会のホームページともリンクさせ、よりスマートに読みやすくする工夫も致しました。

多くの方に読んで頂きますようお願いしております。(S)。

お問い合わせ先：練馬区スポーツ推進委員会事務局
練馬区スポーツ振興課 振興係 03-5984-1948

